

日 芸 み や ぎ

日本大学芸術学部校友会
宮城江古田会 ニュース

かけがえのない仲間たち

柴田滋紀 (美術 H11 年度卒)

宮城江古田会のみなさま、初めまして。私は美術学科出身で石巻在住の柴田滋紀と申します。大学時代には剣道部に所属しておりました。

「石巻」と聞いて思い出すのは、あの震災における最大の被災地というイメージではないでしょうか。私の生まれ育った実家も津波できれいさっぱり流されてしまいました。当時三ヶ所で運営していたお絵描き教室のうち、二ヶ所が流され、まさに着の身着のまま避難所生活がスタートしました。



避難した門脇小学校は流された車から火災が発生した。

もともと剣道や絵画教室で子どもにたずさわっておりましたので、避難所で会う子どもたちの過酷な状況が少しでも改善されれば、笑顔を取り戻してくれたら、という自然な気持ちから、石巻高校の避難所で「遊び場・居場所作り」を始めました。

そのときに骨身を惜しまず、私の活動を遠く東京から、精神的、物理的に支援してくれたのが、ともに青春時代を所沢、江古田で過ごした日芸時代の仲間たちでした。活動に必要な物資を集めてもらい、我々の活動を世の中に知ってもらうためのブログを配信してもら



避難所は人であふれ、生活のすべてに不安がぬぐえず、大人は疲れはて、子どもから笑顔が消えていた。

は車も全部流されましたので、避難所をまわるために必要な車の確保もしてもらいました。朋友二名が、東京からわざわざ車を届けに来てくれたときは、「いつもの仲間に会えた」という安堵の気持ちでいっぱいになりました。



(宮城江古田会の塚崎会長にも車探しの際には大変ご尽力いただきました。)数え上げればここに書ききれないほど、たくさんの方のことにしてもらいました。

現在は活動の場所を避難所から仮設住宅に移し「NPO法人にじいろクレヨン」として、引き続き石巻を中心とした子どもの居場所作り活動に日々奮闘しております。今も愚直に走り続けていられるのは、人の支えがあってこそ。当時はとに



避難所での子どもの作品。ストレスは作品にも表れている。

かく一つでも多くの避難所に行き、一人でも多くの子どもと関わることに夢中で、協力してく



仮設住宅での活動

れた仲間たちにろくにお礼も言えませんでした。親しき仲だからこそ、伝えなければいけないことがあったと今になって反省しております。日芸で出会った一生物の仲間は、私にとってかけがえのない財産です。

活動支援のお願い 振込先:ゆうちょ銀行 店番:818

種目:普通預金 番号:0840789 名前:にじいろクレヨン

柴田滋紀略歴

NPO法人にじいろクレヨン代表。お絵かき教室「ゴコッカン」運営。2000年日本大学芸術学部美術学科卒業 2002年 日本大学大学院芸術学専攻科修了 2005年 石巻市美術展最高賞 チェコ・日本20人展出品 2006年 河北美術展・福島県知事賞 2009年 日洋展・日洋賞 2010年 日洋展・日洋賞 2011年 宮城県芸術選奨 新人賞受賞

Goodbye 三叉神経痛！

塚崎隆夫(写真S42年度卒)

皆さん、三叉神経ってご存知ですか。三叉神経は①前頭部・眼・鼻、②顔中央皮膚から上唇、③耳・頬・口のなどから触・温・冷・痛覚を脳に伝える神経で、脳動脈がこの神経の根本を圧迫しビビッと痛みが走るのが三叉神経痛です。



東京医科大病院にて

最初は右奥歯の痛みだろうと思い歯医者に通ったのが平成10年。頬や歯の付近の鋭い痛みが月一回、週に一回、毎日と頻度が多くなり、会社の食堂で痛くなったときは、丁度40秒の痛みが引くまで黙ってごまかしていました。頭の中で何かが起こっている！脳神経内科外科の病院に駆け込み、三叉神経痛と診断されました。「服用後は車の運転は避けてください」と書かれた薬を飲み、14年間痛みをしのいでいました。

ところが今年に入ってから、風に当たったり急に足早になった時に、一瞬体が固まるほどの刺す痛みに襲われるようになりました。薬を変え、1日5種類計2,000mgまで増やしても効かず、眠気とも戦うようになりました。

3月もう限界と医師に手術を相談、3日後東京医科大病院のT医師宛の紹介状を手にも上京。MRI(磁気断層撮影)で患部を特定し、2か月後の手術が決まった。

5月、宮城江古田会総会翌々日に東京医科大病院入院。都庁が目に見える13階の脳外科病棟は、フロアのほとんどが脳神経外科の患者と聞き驚く。手術は右耳の後ろを6~7cm切開、頭骨にコイン大の穴を開け、手術用顕微鏡を脳幹部付近まで挿入、痛みを発生させている原因の三叉神経と接触している動脈を横にずらし固定、開けた穴にチタンのふたをかぶせて縫合。手術は約3時間とのこと、体にメスを入れる手術は生まれて初めてだが不安はありませんでした。

24日手術当日15時、心配した表情のかみさんに見送られ、私は軽い気持ちで手術室に向かいました。「はい、酸素をたっぷり吸って一、麻酔が流れまーす。名前を言ってくださいーい」2回答えた後は記憶がない。かみさんが呼ばれたのが21時30分、全身麻酔から冷め話しをしたようだが全く覚えていない。その夜は体に様々な管をつながれICU泊りとなる。

翌日、私と同じ病室の3人(一人は顔面麻痺、一人は難聴とめまい)がICUから揃って戻る。点滴、おかゆ、普通食となったが食欲なし。神経に傷があるのか、うどんが右唇に触れても痛く、左唇だけでつるつる。

26日(日)、長男家族の来年小学校の双子と3歳の末の子が、激励の絵を手に見舞いに来る。

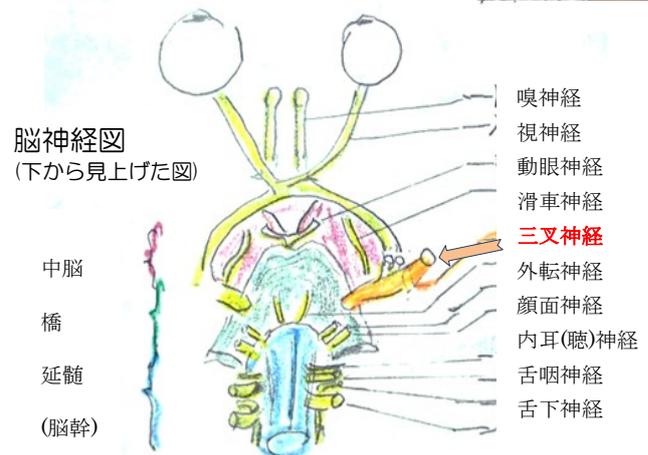
27日、切開部に貼ったテープを剥がす。手術跡はきれいとのこと。仙台から川崎に転居した日芸音楽卒の小川さんが元気な声で面会に訪れる。

28日。担当医師の回診。「まだ頭痛が・・・」「頭を高くしていれば次第に治まります。今日から三叉神経の薬も減らしましょう」

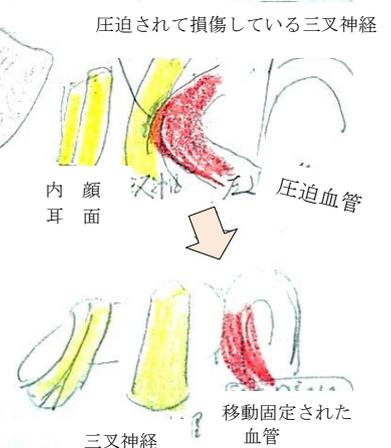
30日、回診時に抜糸、痛みなくあつという間に終わる。手術痕が髪に隠れて見えない。上手い！病棟で脳の模型を発見。医師の説明受け、医学書を借りて模写したのがこれだ。



手術7日目



術後丁度1ヶ月後、神経に傷が残っているのか軽い痛みが再発しましたが、原因は取り除いているので徐々に引いていくでしょう。



頭の手術だけに皆様にご心配おかけしました。医療技術の進歩で、三叉神経痛の手術は2週間の入院で済むようになりました。15年も付き合い合ってきた悪友の三叉神経痛と、もう少しでお別れすることができそうです。

Goodbye 三叉神経痛！

会員の活躍

「じじネタ！オンタイム・トーク」

FMたいはく 桑折 洋一 (放送S55年度卒)

仙台で4番目のコミュニティFM局として6年前に開局した「FMたいはく」で、ローカルでは珍しい時事ネタ番組を担当しています。スタート時は「じじネタ・ばばネタ」、半年後「じじネタ！オンタイム・トーク」として、私は火曜日担当、原則生放送で6年欠かさず出演しています。



私の場合は選挙の名簿管理ソフトを手掛けている関係上「政治ネタ」や「街づくり」「季節に感じたこと」等々を放送しております。最近の放送で「参議院選挙・初のネット選挙」と題しまして「出来る事・参加出来る事・不安な事」などを取り上げ番組としました。解り易く言葉を選んで放送しているつもり？です。放送学科でラジオ制作を専攻していたことが今、生きています。

(火)19:30～20:00 78.9MHz仙台市太白区【見えるラジオを目指しているオンタイムトーク火曜日です。・・では、また来週・・お楽しみに！】

宮城江古田会平成25年度総会

5月18日(土)、仙台市内の街路樹が一番美しい緑色となり、毎年恒例の「仙台青葉まつり」が開催されています。今年の宮城江古田会総会・懇親会は青葉区一番町の郷土料理「北の一」にて、野田慶人学部長、綾部東洋子校友会会長、深松勇校友会宮城県支部長、國分一彦岩手江古田会会長をお招きして行われました。

総会の部では野田学部長より芸術学部の近況報告があり、校舎だけではなく内容もリニューアルしている事、江古田での通年教育が実現に向かっている事など伺いました。私は所沢校舎1期生でしたので、「通年教育がようやく実現する！」ということに特別な思いがあります。先輩方と離ればなれだった経験は今となればいい思い出ですが、正直に言いますと当時は何かと不便がありました。そして、会計報告・役員改正など議事は承認され懇親会の部へ。

「さとうの気持ち」

f mいずみ 佐藤 円 (放送H4年度卒)

仙台市泉区のコミュニティFM局、f mいずみ(79.7MHz)で「さとうの気持ち」という番組をワンマンDJスタイルで制作しています。普段は気になるイベント、アーティスト、昭和歌謡などを紹介していますが、一番力を入れているのが不定期で放送している「おさんぽロケ」です。時には公園、時には雪道、温泉、泉ヶ岳など、様々な場所にPCMレコーダーを持っておさんぽに行き収録、さらに音楽と自作の詩を添えて作品に仕上げるといふものです。



先日、無謀にもギャラクシー賞ラジオ部門に応募してみました。もちろん賞には入りませんでした。雑誌「GALAC」の取材を受けることになりビックリ。これからはこの「おさんぽロケ」をライフワークにコツコツとやっていきたいと思っています。

(土)16:00～16:30/再放送(月)17:00～17:30

※スマートフォンでも聴くことができます。

無料アプリ「FM聴 for fmいずみ」



「北の一」の親爺さんのスペシャルなお料理にイラスト入りのお品書き、竹酒に柚子ジュースなどを楽しみながら朗らかに。森光正宮城江古田会新監事(映画 43)の閉会の言葉にもあったように「ご縁を大切に」していきたいと感じる貴重な交流の場となりました。

店の外に出ると定禅寺通りは「青葉まつり」の「宵流し・総踊り」がクライマックスに。すずめ踊りの祭連を眺めながら賑やかな仙台の夜は更けていきました。(佐藤 円)

日藝オープンキャンパス・進学フェア 7/15開催

日本大学芸術学部は、進学を志す受験生をはじめ、高校1・2年生、保護者の方を対象に、7月15日、オープンキャンパス・進学フェア(10:00～)を開催します。当日は写真・映画・美術・音楽・文芸・演劇・放送・デザインの8学科の授業内容や入試に関する相談、学部全体説明会や公開講座、模擬授業(写真引き伸ばし体験・人物デッサン体験・公開演習オペラ・テレビCMの世界・プロデザイナー特別授業)、学生団体有志の練習披露、図書館・芸術資料館開館、卒業後の就職先説明、卒業生の体験談など様々なイベントが行われます。ぜひ江古田キャンパスにお越しください。

日本大学芸術学部は、写真・映画・美術・音楽・文芸・演劇・放送・デザインの8学科で、その芸術分野を強く志す人、創造性豊かでコミュニケーション能力に富み、芸術全般にわたり強い関心を持つ人、自らが芸術家、クリエイターになることを真剣に考えている人を求めています。

特に「日藝大好き人間」を求める、日藝オーディション(今年はずでに始まっていますが)は、芸術各分野における入学後の目的が明確で、その目的を実現するのに十分な能力を持っていること、その能力を具体的に表現できることを出願条件として、公募に基づき選抜する試験です。学力試験だけでは判定することができない、「潜在能力」「可能性」「素質」「適正」「感性」「説得力」「理解力」「積極性」「好奇心」「健全な精神」「創作力」「表現力」などを具体的に表現できる人を求めています。

て、7月はじめに自己紹介アンケート、8月にエントリーシート提出、その後一次・二次試験が行われ10月に合格発表が行われます。

また一般推薦入学試験は、全国の高等学校の現役生を対象にした推薦入学で、学力は出身学校から出された調査書をもとに判断し、同時に小論文、作文、面接、実技などによって適性を判断、11月に合格発表が行われます。

来年2月から一般入学試験が始まります。外国語と国語の学力試験(一次試験)と各学科・各コースによる専門試験(二次試験)の総合点によって選抜する試験で、2月に実施する第1期と、3月に実施される第2期の2回チャレンジすることができます。このほか校友の子女入学制度もあります。各界で活躍する卒業生は、1921年法学部美学科(芸術学部の前身)開講以来約44,000人です。詳しくは日藝HP <http://www.art.nihon-u.ac.jp/>をご覧ください。



去年のオープンキャンパス



写真・放送学科の授業風景

【会員計報】

伊藤恭一さん
芸術学部写真学科卒業後、(株)アド東北プロを設立。今年2月肺がんで亡くなられました。享年76歳。謹んでご冥福お祈り申し上げます。



ヒマワリの種が入った餌台、常連はヤマガラ・シジウカラ・スズメ。カメラを構えていてもヤマガラは寄ってきて、種をくわえて、はいポーズ。冬期限定、鳥のレストランです。(T)

【編集後記】

柴田滋紀さんが代表を務める「にじいろクレヨン」への皆様の御支援よろしくお願いたします。

震災以降、仕事で仙台に来た大学の同級生、先輩と会う機会が増えました。鍼灸師のボランティアスタッフ、ラジオディレクター、広告代理店勤務など、それぞれが自分の持ち味で働いている姿を見ると、とても頼もしく誇らしく思います。私もそう思われる存在になりたいものです。

が・・・なかなか道は遠そうです。皆さまのご活躍のニュースをお待ちしております。是非、編集スタッフまでお声掛けくださいますようお願いいたします。(佐藤)

発行責任者 塚崎隆夫

事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-21 (有)アズシステム

桑折洋一 Mail: koori@az-sys.co.jp